

疾患バイオバンクとゲノム研究

◆ 講師：松田 浩一 先生

Lecturer: MATSUDA Koichi

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
クリニカルシーケンス分野 / 教授

(Professor, Laboratory of Clinical Genome Sequencing Department of
Computational biology and Medical Sciences, Graduate school of Frontier Science,
The University of Tokyo)

◆ 日時：令和 5 年 4 月 26 日 (水) 17:30～

Date April 26 (WED.) from 5:30 p.m.

◆ 場所：医学教育図書棟 3 階 第 2 講義室

Lecture room 2, Medical Education & Library Building 3F.

Abstract

近年のゲノム解析技術の進歩に伴い、大規模な集団を対象とした全ゲノム関連解析が幅広く用いられるようになり、疾患関連遺伝因子が次々と明らかとなっています。これらの研究には大規模な患者検体や臨床情報が必要となりますが、その基盤として 2003 年に東京大学医科学研究所にバイオバンクジャパンが設立されました。

これまでに 51 疾患約 27 万人の DNA、血清、臨床情報などが収集され、さらにほぼ全例の SNP アレイ解析や 1 万人を超える WGS、4 万人のメタボローム、3000 人の proteome 解析が完了しております。

我々は本プロジェクトにおいて試料・臨床情報の管理などの実務を担当すると共に、様々な疾患関連遺伝子の同定やがんにおける環境因子との相乗効果などを明らかとしています。さらに希少がんである骨軟部腫瘍を対象とした医療機関連携も進めております。

本セミナーではバイオバンクジャパンおよび骨軟部腫瘍コンソーシアムにおける試料情報の利用方法や疾患ゲノム研究の成果について報告致します。

- ◆ 担当：岡田 誠治 教授 (造血・腫瘍制御学) / Prof. OKADA Seiji (Dep. Hematopoiesis)
- ◆ レポート宛先/Essay (岡田 教授 宛 To Prof. OKADA) : okadas@kumamoto-u.ac.jp
- ◆ レポート宛先/Essay (CC; 医学教務/Student Affairs Sec.) : iyg-igaku-3@jimu.kumamoto-u.ac.jp